質の高いインフラパートナーシップのイメージ

平成27年5月21日
外務省、財務省、
経済産業省、国土交通省

■ アジアのインフラ需要に応えるべく、各国・国際機関と協働。日本のODA等の経済協力ツールを総動員するとともに、機能を強化したADBと連携して、<u>今後5年間で約1,100億ドルの「質の高いインフラ投資」</u>を行う。

■ その際、民間部門の資金・ノウハウの更なる動員により、「質と量」の双方を追求する。

・低所得国向け・中所得国向け勘定の統合により<u>融資能力を約50%増</u>、将来の増資も検討
・承認手続きの簡素化等により、ニーズにより迅速に対応

ADB インフラ向け融資

ADB 出融資

民間資金

JICAの海外投融資とADBが協働してPPPインフラ投資を実施する仕組みを検討

JICA
海外投融資
円借款・無償・技協

民間資金

途上国政府等

・<u>PPP促進円借款</u>による出資・収支補填・保証のバックアップ
・技協、無償資金による支援

JICA アジアインフラ向け
円借款・無償・技協

円借款と技協・無償の有機的な連携やF/S実施強化等を通じて、<u>支援金額の約25%増</u>

途上国政府による公共投資

民間資金・ノウハウを活かしたPPPインフラ投資

アジア地域の膨大なインフラ需要

ライフサイクルコストの抑制
環境・社会・防災への配慮
債務持続可能性の確保
開発計画との合致
人材育成・制度強化

民間資金

JBIC, JOIN, NEXI等
出融資・保険

<u>日本企業の技術・ノウハウをより一層活用</u>すべく、JBICの体制強化等を通じた<u>リスクマネーの供給倍増</u>

<u>「質の高いインフラ投資」</u>に関する国際的スタンダード策定、発信、定着

世銀 | APEC | ASEAN | G20 | OECD | 国連開発資金会議

日本の知見、実績を活かした、知的・財政的・外交的インプット